

配信アプリケーションの確認について

背景

- ✓ オンライン資格確認等システムのテスト運用及びプレ運用にご参加いただいている複数の医療機関・薬局において、配信アプリケーションを利用したアップデート（顔認証付きカードリーダーアプリケーション、顔認証ライブラリ、連携アプリケーション等）に関するお問合せを複数受領しております。
- ✓ また、配信アプリケーションは、オンライン資格端末等にインストールしているアプリケーションのバージョンが常に最新で稼働するために、重要な機能です。
- ✓ 配信アプリケーションは、運用開始にあたってだけでなく、運用開始後も継続的に利用するものであることを踏まえて、利用に係る手順を改めて周知いたしますとともに、下記の点についての確認をお願いいたします。

確認事項

配信アプリケーションの利用開始にあたっては、下記2つの確認を行ってください。

1 支払基金の配信サーバーへの接続確認

➤➤ P.2

2 各種アプリケーションのバージョン確認

➤➤ P.3

1. 確認手順 ①支払基金の配信サーバーへの接続確認

- ✓ オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールを起動し、「配信サーバーへの接続確認」を押下することで、接続状況を確認してください。

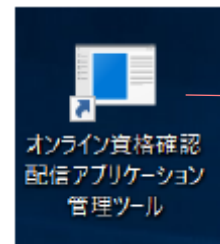
手順の概要

操作イメージ

1

ツール起動

- 医療機関等にある資格確認端末のデスクトップ画面にある、オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールを起動します。



アイコンを押下することで、ツールを起動

2

接続状況の確認

- 「配信サーバーへの接続確認」を押下することで、支払基金の配信サーバーへ接続できているかどうかを確認するために信号を送ります。

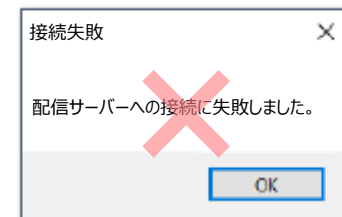
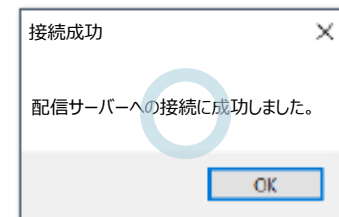


配信アプリケーション管理ツールの「配信サーバーへの接続確認」ボタンを押下

3

接続結果の確認

- 支払基金の配信サーバーへの接続に成功したか、失敗したか結果が表示されるため、表示内容を確認します。
 - 「接続成功」と表示されたら、当該対応は完了です。
 - 「接続失敗」と表示されたら、P.4の対処方法を実施します。



➡➡ P.4

1. 確認手順 ②各種アプリケーションのバージョン確認

- ✓ 現在インストールされているアプリケーションのバージョンが最新のバージョンと一致しているかを確認してください。
- ✓ 一致していなければ、アップデート処理を行ってください。

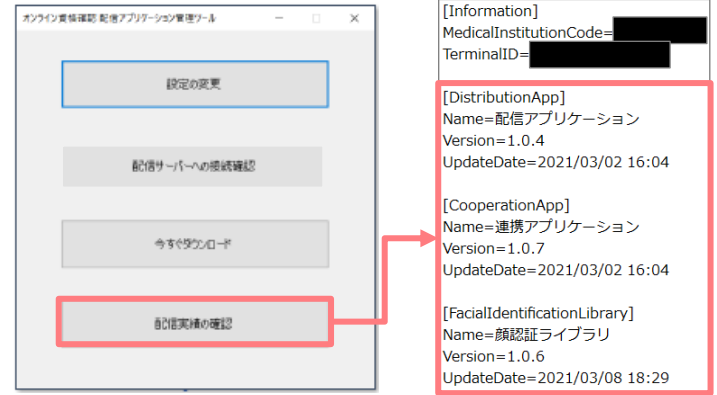
手順の概要

操作イメージ

1

端末にある
現在の
バージョン
確認

- オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールから、医療機関等の資格確認端末に入っている、下記のアプリケーションの現在のバージョンを確認します*。
 - 配信アプリケーション
 - 連携アプリケーション
 - 顔認証ライブラリ



- 医療機関等でお使いの顔認証付きカードリーダーの管理コンソールから、アプリケーションのバージョンを確認します。
 - 顔認証付きカードリーダーアプリケーション



2

最新
バージョンを確認

- 医療機関等向けポータルサイトから、**1**で確認した4種のアプリケーション・ライブラリの最新バージョンを確認します。
(URL : <https://www.iryohokenjyoho-portalsite.jp/download/post-6.html> 最下部「アプリケーションバージョン情報」)

アプリケーション名	最新ファイル	バージョン情報
1 連携アプリケーション	OQsComApp.msi	1.0.9
2 配信アプリ	OQsDistroApp.msi	1.0.4
3 プラウザ拡張プラグイン (顔認証DLL含む)	OQsFaceApp.msi	1.0.6
4 配信アプリケーション	OQsDistroApp.msi	1.0.6
5 MPKIダウンロード	MPKIUpdateApp.msi	1.2.0.0
6 顔認証ライブラリ	FaceRecognitionLibrary.msi	1.0.6
7 顔認証付きカードリーダーアプリケーション	FaceRecognitionLibrary.msi	1.0.6
富士通App開発会社		1.0.0.4
メダニクスシステムソリューションズ株式会社		1.1.1.1.2
株式会社アルメックス	管理コンソール	10.10
	カードリーダー本体 (画面)	362
	カードリーダー本体 (CPS-100)	2.26

3

アップデート
要否を確認

- **1**で確認した4種のアプリケーション・ライブラリが、公開されている最新バージョンと一致しているかどうか確認します。
- 不一致であれば、P.6をもとにアップデートを行います。

➡➡ P.6

※ 資格確認端末の設定作業を行った業者向け
手動でアップデートした場合はバージョン情報ファイルで確認してください。
● 連携アプリケーション (OqsComApp) C:¥Program Files¥OQS¥OQsComApp¥Version.info
● 配信アプリケーション (OpsDistroApp) C:¥Program Files¥OQS¥OQsDistroApp¥Version.info
● 顔認証 (OqsFaceApp) C:¥Program Files¥OQS¥Auth¥Version.info

2. 確認できない場合の対処方法 ①配信サーバーへの接続に失敗するケース (1/2)

- ✓ よくある失敗例と解消法を以下に示します。
- ✓ 不具合が解消しない場合や不明点がある場合は、資格確認端末の設定作業を行った業者へお問合せください。

よくある失敗例

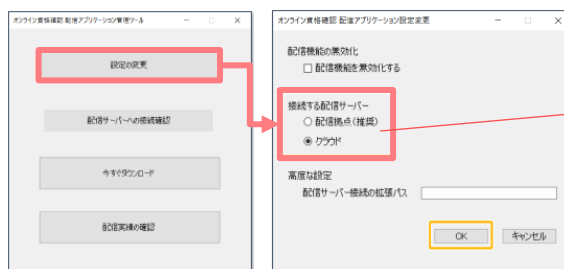
失敗例

解消手順の概要

操作イメージ

接続先の
配信サーバーの
選択を
誤っているケース

- オンライン資格確認配信アプリケーション管理ツールから、「設定の変更」を押下し、右記を参照の上、接続先が正しく設定されているか確認します。



- ✓ 以下に該当する場合、「配信拠点(推奨)」を選択
 - IP sec IKE サービス提供事業者
 - ・富士通株式会社
 - IP VPN 接続方式 (光回線)
 - ・NTT東日本・西日本
 - ・中部テレコミュニケーション株式会社 (CTC)
 - ・株式会社Qtnet
- ✓ 以下に該当する場合、「クラウド」を選択
 - IP sec IKE サービス提供事業者
 - ・株式会社NTTPコミュニケーションズ
 - ・株式会社NTTデータ
 - ・三菱電機インフォメーション ネットワーク 株式会社
 - その他

プロキシの例外
設定を誤っている
ケース

- 上記で接続先に「配信拠点(推奨)」を選択した場合、プロキシの例外設定内容が、正しく設定されているか確認します。
- なお、これまで発生している既知事象は以下の通りです。

【既知事象】

- ✓ 例外設定していないアドレスがある
- ✓ 設定値のセミコロンが抜けている

① Microsoft Edgeを起動後、「設定」を押下

② 「システム」を押下

③ 「コンピューターのプロキシ設定を開く」を押下

④ 以下の内容を入力の上、保存します。
 ○ アドレス : proxy.base.oqs-pdl.org
 ○ ポート 8080
 ○ 以下のもの以外にプロキシサーバーを使います
 ・*.onshikaku.org;
 ・*.flets-east.jp;
 ・*.flets-west.jp;
 ・*.lineauth.mnwg;
 ・*.obn.managedpki.ne.jp;
 ・*.cybertrust.ne.jp;
 ・*.secomtrust.net;
 ・*.rece;
 ・pweb.base.oqs-pdl.org

2. 確認できない場合の対処方法 ①配信サーバーへの接続に失敗するケース (2/2)

よくある失敗例

失敗例

解消手順の概要

- 前頁で接続先に「配信拠点(推奨)」を選択した場合、「医療機関等向けセットアップ手順書(資格確認端末編)」(URL: <https://www.iryohokenjyoho-portalsite.jp/download/post-6.html>「オンライン資格確認 マニュアル」)巻末「追加設定 プロキシ設定のコマンドを実行する」を実施していなかった場合、実施します。

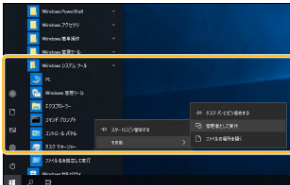
プロキシ設定 のコマンドを 実行して いなかったケース

追加設定 プロキシ設定のコマンドを実行する

プロキシの設定後、以下の2つのコマンドを実行してください。

1 コマンドプロンプトを起動します。

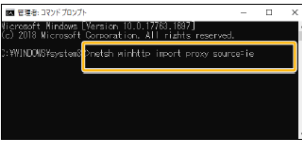
スタートボタンをクリックし、表示されるメニューからWindowsシステムツールを選択します。コマンドプロンプトメニューを右クリックし、その他→管理者として実行をクリックします。



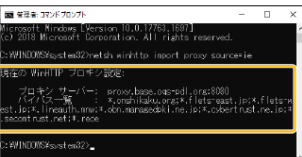
2 管理者: コマンドプロンプトが表示されます。

以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。

```
netsh winhttp import proxy source=ie
```



3 以下の内容が表示されたことを確認します。



表示内容


現在の WinHTTP プロキシ設定
プロキシ サーバー: http://proxy.base.oqs-pdl.org:8080
バイパス一覧: *.onshikaku.org;*.flets-east.jp;*.flets-west.jp;
.lineauth.mnw;.obn.managedpki.ne.jp;*.cybertrust.ne.jp;*.secom
trust.net;*.rece;pweb.base.oqs-pdl.org

- 4 以下のコマンドを入力し、Enterキーを押します。
- ```
netsh winhttp show proxy
```



- 5 以下の内容(3と同じ)が表示されたことを確認します。

確認が完了したら、右上のXボタンをクリックして画面を閉じます。



表示内容

現在の WinHTTP プロキシ設定  
プロキシ サーバー: http://proxy.base.oqs-pdl.org:8080  
バイパス一覧: \*.onshikaku.org;\*.flets-east.jp;\*.flets-west.jp;  
\*.lineauth.mnw;\*.obn.managedpki.ne.jp;\*.cybertrust.ne.jp;\*.secom  
trust.net;\*.rece;pweb.base.oqs-pdl.org

**注意**  
P.12の①で記載したネットワーク事業者起点の構成又は医療機関等起点の構成の場合は、間い合わせた内容とおりに設定されていることを確認してください。

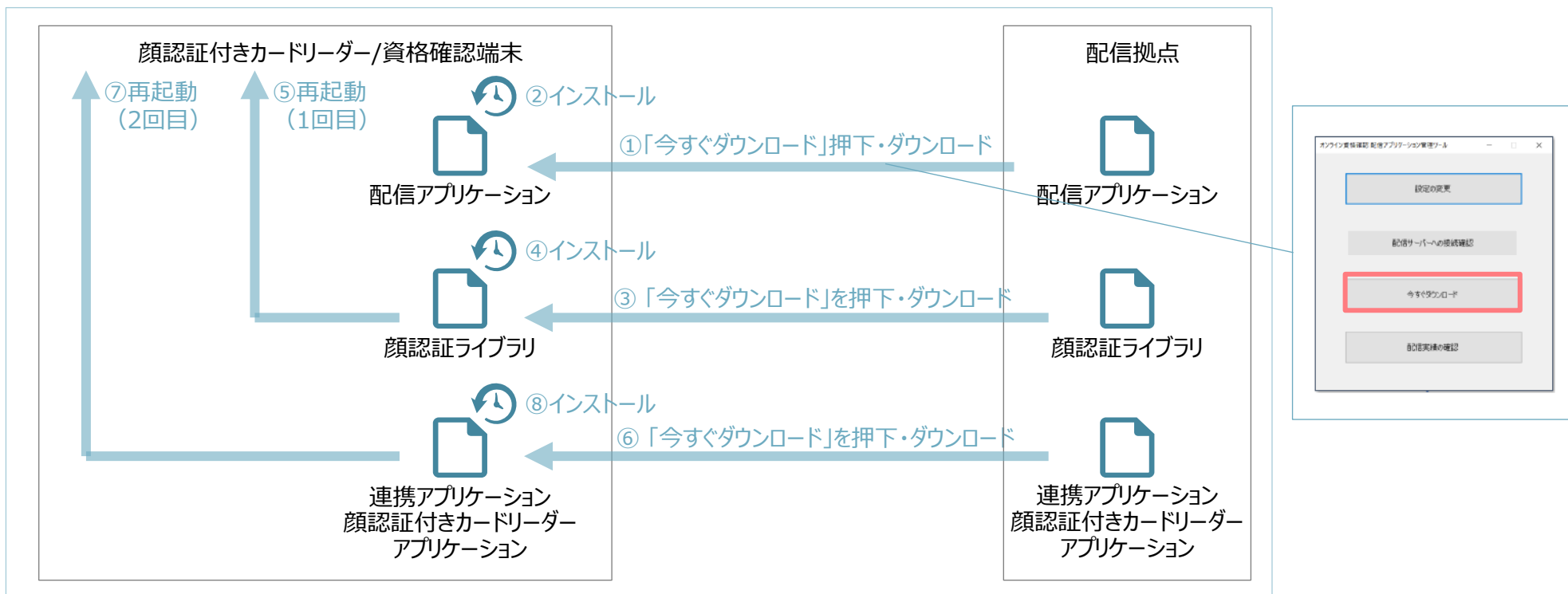
ⓘ 本操作が完了したら、P.13の設定作業に戻ります。 >>> P.13

## 2. 確認できない場合の対処方法 ②アプリケーションのバージョンアップできていないケース

- ✓ 配信アプリケーション又は顔認証ライブラリを含む、複数のアプリケーションをアップデートする際、以下の対処方法を参考にアップデートしてください。
- ✓ なお、バージョンアップしたアプリケーションの配信開始当日は、多くの医療機関等からのアクセス集中が想定されることから、「今すぐダウンロード」のご利用はお控えください。導入作業に限りご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

### 対処方法

(例) 配信アプリケーション、顔認証ライブラリ、連携アプリケーション・顔認証付きカードリーダーアプリケーションをそれぞれアップデートが必要な場合 ※ すでに最新バージョンになっている場合は、その手順を実施する必要はありません。



### 注意点

- ✓ 「今すぐダウンロード」を押下し、ダウンロード及びインストールを行うのに20分程度※要するため、時間を置いてから再起動を行ってください。バージョンアップできていない場合、再度時間を置いて再起動してください。

※ ダウンロード・インストール時間は20分程度を想定しておりますが、アップデート容量と各医療機関等のネットワーク帯域に応じて、ダウンロード・インストール時間は異なります。